

Profile プロフィール

石田 重廣さん

1958 年生まれ、福島市出身。
19 歳で上京し、2003 年に芸能事務所「あずさ2号」を設立。その後、社名を「夢グループ」に変更し、通販と芸能事務所をメインとした事業を展開している。

保科 有里さん

1961 年生まれ、石川県金沢市出身。
1993 年、「神無月に抱かれて」でデビュー。夢グループに所属し、石田社長と通販番組に出演するほか、夢グループ主催のライブやコンサートで活躍している。

市長 その後、田村市においていただきましたね。
石田 観光大使になる以上は、「じっくり田村市の様子を見ないと」と思い、こっそり訪れました。
市長 田村市にお越しになった際、印象的だったのは開口一番、「市長、田村市の観光資源のどこを一番先に売りにしますか」とお話しされたことです。準備を進め、昨年9月に観光大使を委嘱しました。

使就任で、初めて田村市を知りました。就任後は「この鍾乳洞は日本一だ」とずっと自慢されているのですよ。
石田 全国を訪れる際、鍾乳洞があるところは必ず立ち寄るようにしています。あぶくま洞と何が違うのかと、売りを探してこなければなりませんからね。
市長 あぶくま洞の売りは空間の高さです。これはどこにも引けを取りません。
石田 ただネックは、急な勾配や階段が多く、ご年配の方の入洞が難しいと感じ

ました。この問題がクリアできれば、高齢者が旅行で田村市を訪れる時に、あぶくま洞をみられるのにと、思っています。
保科 入り口から半分ぐらいまで行って帰るルートもあっていいですね。
市長 いずれは高齢者や障害を持った方にも、あぶくま洞を訪れてほしいと考えています。
石田 若者にも、あぶくま洞の良さを伝える必要がありますね。若者が「父ちゃん、母ちゃん、田村市に、いいところあるぞ」と言われるような観光スポットになれば良いですね。



保科 恋人たちは「デートで何かを一緒に探す」といった共同作業を通して、思い出づくりをしないと考えています。「この場所にはハートの模様があるから一緒に探そう」といった冒険心をくすぐるような仕掛けをプラスすると面白いでしょう。
―観光大使に就任されてから早速、観光PR動画を制作いただきました。
石田 僕は保科さんと一緒に、どうすればお客さまに見てもらえるか、関心を持ってもらえるかを考えながら、映像で伝える仕事をいつも



しています。今回の観光PR動画を作って発見したのは、田村市には巨石などのパワースポットが多く存在していることです。多くのお客さまが来て、パワーがもらえる素材があるのにPRが少ないのは、もったいないなと思いました。あと、もったいないなと思うのは、田村市まで来る間、ワクワク感がない。普通なら地方に行った時、観光をPRする看板をよく見かけます。「田村市はここがおススメ」といった、面白くて、目に入る看板があれば、ワクワク感を生み出せるでしょう。そういうところに予



観光大使 特集

夢を描き、未来を創る

白石 高司 × 石田 重廣 × 保科 有里 鼎談
田村市長 夢グループ社長 夢グループ所属歌手

市は昨年9月、通信販売や芸能プロダクションを手掛ける株式会社夢グループの石田重廣社長（福島市出身）を、市観光大使に委嘱しました。今回の特集では、石田社長と、夢グループ所属の歌手で、石川県観光大使の保科有里さんを迎え、市が観光大使を委嘱した経緯や、大使としての現在の活動、今後の展望などについて、市長と語り合っていました。

情報発信力の強化へ

―はじめに、市が石田社長を市観光大使に委嘱した経緯を教えてください。

市長 私が昨年2月、福島市で開かれた石田社長の講演会を聴講したことがきっかけでした。「今、地方は少子高齢化や人口減少などで課題が多く、中でも田村市の魅力を多くの方々に知ってもらうための情報発信力が重要と認識しています。夢グループさんの情報発信力に魅力を感じています。田村市の情報を発信する良い方法はありませんか」と、質問しました。

石田 「それには僕が観光大使になることが一番だと思いますよ」と答えました。

市長 私からすると、ドジャースの大谷翔平さんの場合ホームランのような出来事でした。そこで「ぜひお願いします」とお伝えしました。
石田 いち早く声をかけていただき、うれしかったことを覚えています。